

社会課題解決アクションを地域活性化に繋げる



**BLUE OCEAN
INITIATIVE**





2050年 海洋プラスチックの重量 > 魚の重量

(エレンマッカーサー財団／世界経済フォーラム)

磯焼け / Sea Desert

気候変動 → 生態系の影響 → 藻場の喪失 → 水産資源の減少



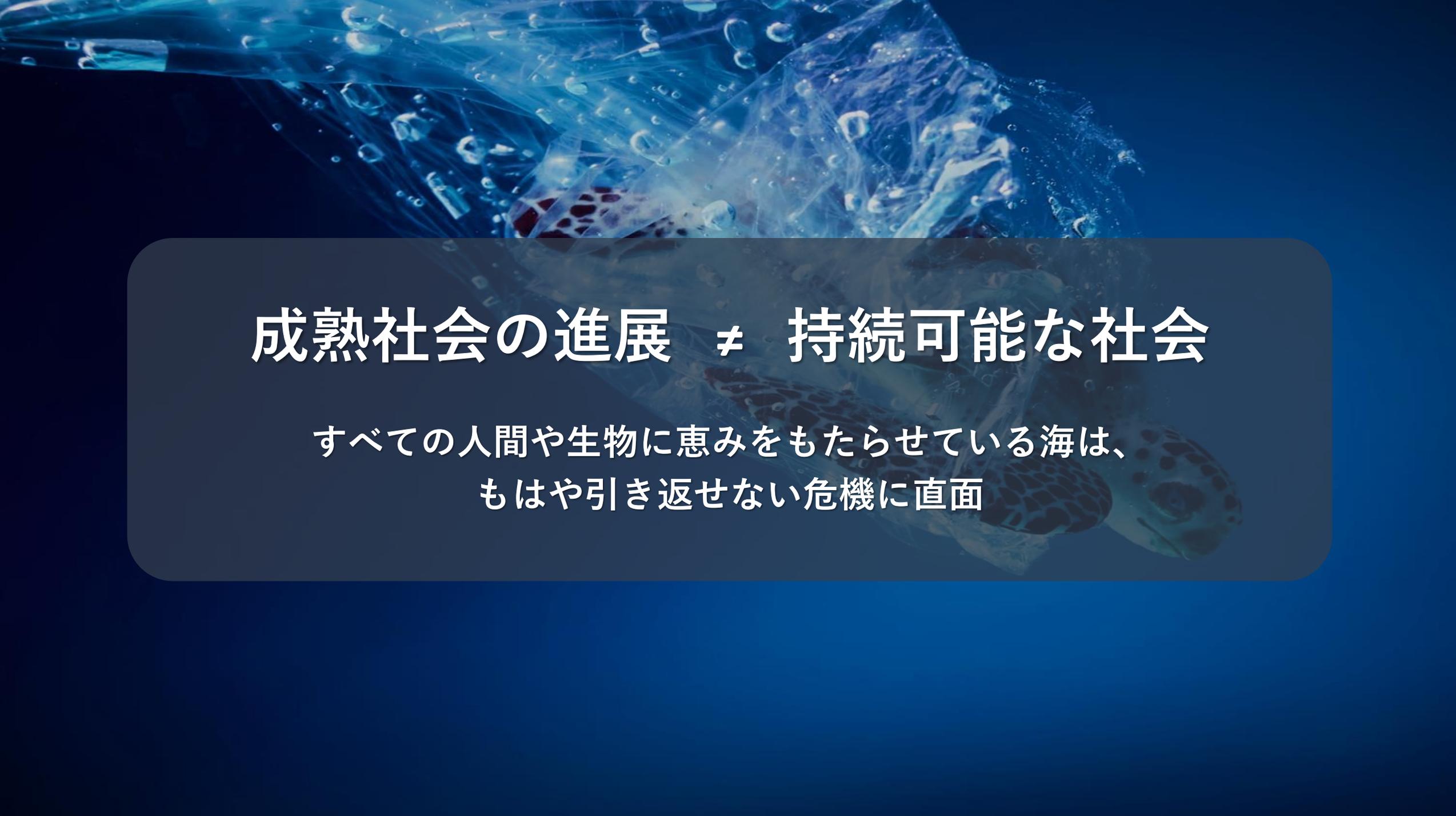
IUU漁業

Illegal, Unreported and Unregulated → 海洋環境惡化、人權



海上輸送とCO2

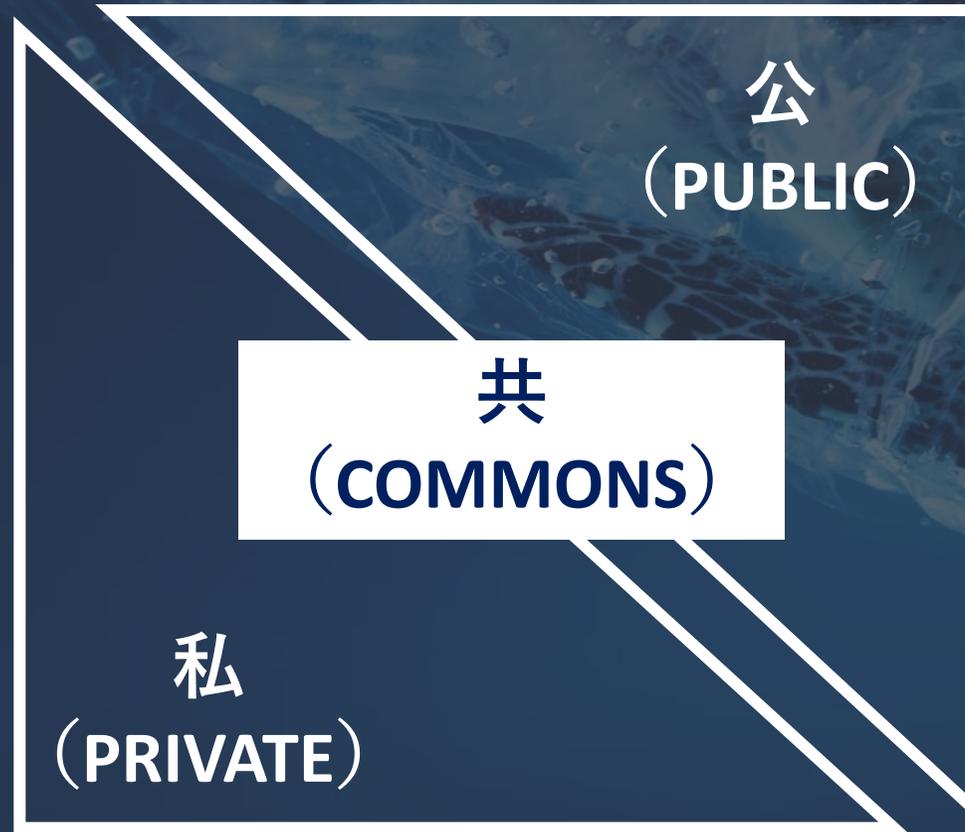
世界のCO2排出量の約2.5%（ドイツ1国分に相当）



成熟社会の進展 ≠ 持続可能な社会

すべての人間や生物に恵みをもたらしている海は、
もはや引き返せない危機に直面

海は「コモンズ」、誰がどう課題解決を担うか





「民間セクターが海洋研究と持続可能性をサポートする
パートナーシップに参加することを奨励します」

(第2回国連海洋会議 2022, グテーレス国連事務総長)

海洋課題解決に向けた、サイエンスとファイナンス強化の合意

(第3回国連海洋会議 2025)



 BLUE OCEAN INITIATIVE

海洋国家である日本から、
世界をリードするブルー・イノベーションを

海の「三方良し」を、いかにリフレーミングするか



公益性と事業性を両立させる

ソーシャル・アントレプレナーシップを、事業成長のドライバーに
インパクト投資など、新たなインセンティブ設計等、クリエイティブなソーシャル・デザイン

複雑に絡み合う社会課題を、産官学民の共創で解く

「早く行きたければ1人で行け、遠くに行きたければみんなで行け」（アフリカの諺）

“課題解決プロジェクト”をプロデュースする、という視点

会員（アクションの主体者）

- ▶ 大企業：18社
- ▶ スタートアップ：55社

連携パートナー（アクションの支援者）

- ▶ アカデミアパートナー：6機関
- ▶ 自治体パートナー：8エリア
- ▶ 金融パートナー：4社
- ▶ メディアパートナー：10社
- ▶ アライアンスパートナー：8団体



公益性投資

海洋研究
・政策提言

事業構想人材育成
自治体連携

産業界
(幹事企業)

事業プロデュース
(業務執行)



澁澤 健
シブサワ・
アンド・カンパニー
創業CEO



角南 篤
笹川平和財団
理事長



田中 理沙
事業構想大学院大学
学長



代島 裕世
サラヤ株式会社
取締役



小宮 信彦
事業構想大学院大学
特認教授
株式会社電通
シニア・ディレクター

<https://blueocean-initiative.or.jp/about/#partner>

- 異なる業種・業態のネットワーキング
- 7つの研究会、各界有識者イベント、対馬未来会議
- アクション毎の共創コンソーシアム組成



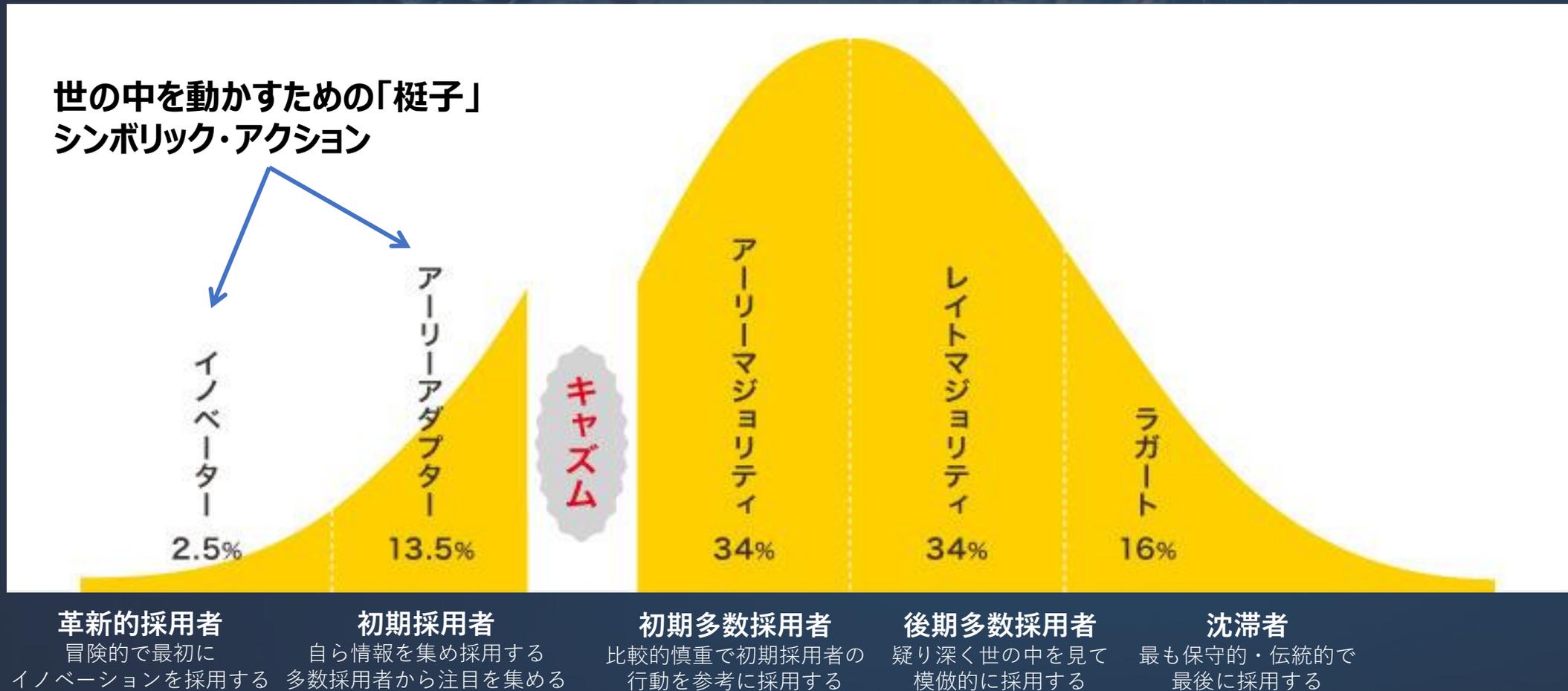
- 2025大阪・関西万博
「ブルーオーシャン・ドーム」
- 国連海洋会議、カンヌライオンズ
- 出版

- 対馬イノベーションレジデンス構想
(産官学民連携PoC拠点)
- 大阪湾MOBAリンク構想 (藻場再生)

- 対馬ブルーカレッジ (イノベーション人材育成)
- インパクト投資 (SIB、ゼブラなどのオルタナティブ)

分科会テーマ	2030年に目指すゴール（暫定）
<p>(1) 海洋プラスチック回収手段の確立と再資源化の加速</p>	<p>沖や浜辺における海洋プラスチック回収手段の確立、海ごみを活用したサーキュラーエネルギーシステムの開発</p>
<p>(2) 持続可能な水産資源管理とサプライチェーンの進化</p>	<p>天然資源の維持管理と養殖普及のソリューション開発と両立、サプライチェーン全体での適切なマネジメントサイクル確立</p>
<p>(3) ブルーカーボンの普及促進と関連商品・産業の創出</p>	<p>カーボンニュートラル実現に向けた、BC認知度向上とビジネスモデル確立、地域特性にあわせた藻場再生活動の推進</p>
<p>(4) 脱炭素時代における海洋都市・海運・エネルギーの開発</p>	<p>海運における脱炭素化の加速、海洋都市開発を通じた新たな経済圏の創出</p>
<p>(5) 「海からの観光」の新事業創造と地域創生</p>	<p>漁業の6次産業化の促進、これまで発想にない新たな新業態の創出</p>
<p>(6) 海洋データの共有と利活用の推進</p>	<p>目には見えない「海の中の情報」を集約したデータベースの構築、データ利活用ビジネスの推進</p>
<p>(7) 海洋保全を加速させるソーシャル・コミュニケーション</p>	<p>世界中の人々の行動変容に繋がる、社会を変えるコミュニケーションの実践</p>

小さくともエッジの立ったアクションが世の中を変える



(出典) 「イノベーション理論 (エレベット M. ロジャース, 1962)」 電通報

【ビジネス】

企業・スタートアップ・社会起業家

アイデア・ソリューション
事業投資

新事業創出
社内人材育成
PR/IR/採用PR

【金融】

投資家・財団・補助金

インパクトリターン

財政的支援
金融投資

【リビングラボ】
戦略課題設定
と
シンボリック
アクション

サイエンスエビデンス
効果検証

研究成果

【アカデミア】

研究者・教育機関

シビックプライド醸成
新産業創出・地域活性化

課題の提示
フィールド提供トライアル支援

【地域フィールド】

自治体・海事関係者
NPO/NGO・市民



対馬市とBOIの連携協定

2023年、「ブルーアイランド・プログラムに関する事項」「海洋プラスチック削減に関する事項」「海洋資源保全と海産業活性化に関する事項」「海洋と気候変動対策に関する事項」連携協定締結



漂着ごみが課題の対馬…海の環境を守る新たな取り組み

5/25(木) 12:10 配信 1 1 1 1



テレビ長崎

「対馬マリンリビングラボ」構想

- **社会課題の最前線**である対馬は、**アイデア次第で、世界で最も革新的な場所になる可能性**を秘めている。
- また古来より、大陸と日本の交差点に位置する対馬は、遣隋使・遣唐使・朝鮮通信使などの交流を通じて、**異なる知と知が交差する、日本有数の創発の地**という歴史的背景を持つ。
- 「島嶼」は、閉鎖系の社会や生態系として、新たな実験がしやすい。**島嶼で成功すれば、他地域や世界に横展開可能。**
- **2050年：世界最先端のサステナブル・アイランド**の実現に向けた、**海洋課題を解決するイノベーションの実験場**として、企業による実証実験やラボの設置、国際的イベントの開催（SXSWのような）、未来を切り拓く社会課題解決人材の育成を図っていく。



(参考) 対馬未来会議2024

- 期間：2024/10/4（金）～5（土）
- 参加者数
 - BOI会員・関係者
 - 対馬島内の参加者
 - その他（スタッフ含む） 計 約80名
- 開催場所：長崎県対馬市
- スケジュール
 - 1日目：海の課題発見スタディツアー
 - 2日目：未来への提言ディスカッション
（対馬市交流センターにて）



(参考) 対馬ブルーカレッジ2024「次世代海業創出プロジェクト研究」

- 企業版ふるさと納税の活用
- あらたな海業の新アイデアの事業構想
(最終発表は、2025大阪関西万博の会場)
- 実施期間 2024年6月～2025年3月 全20回
- 島内外から、イノベーション育成人材が集結



2024年5月14日 対馬市交流センターにて合同記者会見を実施。(左から) サラヤ株式会社 取締役 代島裕世、一般社団法人ブルーオーシャン・イニチアチブ 事務局長 廣中龍蔵、学校法人先端教育機構 事業構想大学院大学 学長 田中里沙、比田勝尚喜 対馬市長

万博パビリオン「ブルーオーシャン・ドーム」

会期中、100を超える「海」のセッションを実施



【EXPO2025】BLUE OCEAN DOME 公式チャンネル
@EXPO2025_BLUE_OCEAN_DOME · 817 subscribers · 96 videos
【EXPO 2025】BLUE OCEAN DOMEのYouTube公式チャンネルです。...more
zeri.jp/expo2025 and 1 more link

Subscribed

Home Videos Live Playlists

Dome C Events

- 持続可能な水産・海洋都市の実現を目指す函館市の取り組み
- 「昆布」は大粒・間節と函館・北海道を結んで深く、海の宝
- 函館の海を繋ぐために～函館真昆布を未来へ繋ぐ挑戦～
- マツダの持続可能な未来に向けて～協力を呼び、その力をかして～
- 函館の魅力と可能性～新たな食文化の創造を目指して～

2025.07.25
13:30 - 13:50 / 14:00 - 14:25 / 14:45 - 15:10 / 15:20 - 15:45 / 16:05 - 16:30

#080 北海道新聞社 / 函館マリカルチャープロジェクト **LIVE**

【#080】函館真昆布DAY (ZERI JAPAN / 北海道新聞社 / 函館マリカルチャープロジェクト) #EXPO2025
【EXPO2025】BLUE OCEAN DOME 公式チャンネル · 16 watching

2025.07.25 (Fri) 13:30 ~ 13:50 持続可能な水産・海洋都市の実現を目指す函館市の取り組み 昆布生産量日本一の北海道・函館市が誇る「函館真昆布」は...





 BLUE OCEAN INITIATIVE

海洋国家である日本から、**対馬から**
世界をリードするブルー・イノベーションを

